

30年連続50回目の全国大会出場!

経スボ



2005年6月30日（土）から
8月13日（木）に愛知県豊田市で
カイトホール豊田で開催された西日本
本学生ハンドボール選手権大会に
本学ハンドボール部が出場した。
8月12日（水）全日本学生ハン-
ドボール選手権大会への出場がか
かった岐阜聖徳学園大学戦に見事
勝利し、30年連続5回目となる全
日本学生ハンドボール選手権大会
出場を決めた。30年連続というブ
レッシャーのかつた今大会だが
本学ハンドボール部の選手たちほ
そのプレッシャーを跳ね除け素晴
らしい試合を見せてくれた。

最終的に28-18で勝利したが、今大会で最も自分たちの試合ができるなかつた一戦であり、修正が必要であると考えさせられる戦となった。

8月11日(火)予選リーグ最後の試合はインカレや西カレで何度か対戦している強豪の大同大学。この試合で勝利したチームが決勝トーナメントに進出し、さらにインカレの出場も決まる絶対に負けられない大事な一戦。前半立ち上がりから両チームとも気迫のプレーが続き、両チーム譲らない攻防が続いた。均衡を先に崩したのは大同大学だった。大同大学は本学ハンドボール部のミスを見逃さず攻による連續得点で点差を離し、そのまま15-11で前半を折り返した。だがこのまま終わる本学ハンドボール部ではなかった。

後半は主将の田村優弥(経済4年)を中心とした固いディフェンスで相手のミスを誘い、速攻で得点するなど、本季ハンドボール部の持ち味を生かし大同大学を追い詰めた。しかし、後半10-11で勝ち越すも一歩及ばず25-22で本学ハンドボール部は敗戦した。予選リーグは首位で終わり、決勝トーナメント進出とまではいかなかつたが、インカレ出場決定戦(対立教聖徳学園大)への出場権を獲得した。

本学ハンドボール部はこのイン

12日（水） インカレ 前半立石で勝利し、昨年の秋季リーグで勝ちを疑つた。何故かは、油断が仇となり、監督がガリインの経験を奪えずだ。その後、増やして、リードしていく。ハーフを折り返していく。ハーフがない。ハーフを再確認を、勝ちたいを再確認する。本学ハ、持った味でもスから速度で勝ちたいである。間科学ハ、

）岐阜聖
のなかつ
上がりか
フエンス
均衡し
後徐々に
といつた
13—8
送す。点
したが油
断り、
ハーフタ
コーサと
レへの気
い、という
恥じ挑ん
ノドボイ
めるディ
アムで、
逃攻で、
る山本彩
4年)な

思い出が49回目のインカレ春季リーグで、徳学園大命館大学に敗れた。しかし、学ハンド球の出場の順位を上位で越すことが出来た。リーグでの始めたものも忘れてはならない。そこで引き締めながら、今後も頑張りたい。

にか選手全員が太学門高等学校の出身で、30歳未満の選手は17歳以下のものもいます。

和し、大きい
力もかかる中
で勝を生かす
日本全日本の選手権

今までいい勝負をするが園休ままで優しく出でると金と生る。つめで来会学とをしる。始めで入本し、中させ増しでな29付し

日本学生ハンブルグ部は皆様の支援を賜ります。孝明（ハジメ）

トボール部 部長) ドボール選手権大会の方々の「支援」のよう、よろしくお
　　(トボール部 部長) 来ました。このことについておりますが、保護者の皆様の「ご尽力あつての
　　(トボール部 部長) 出場という節目をドボール部OBの
　　(トボール部 部長) に長年継続してござります。
　　(トボール部 部長) と思つております。
　　(トボール部 部長) 上げます。
　　(トボール部 部長) の目標は大会への
　　(トボール部 部長) 握げております。
　　(トボール部 部長) う選手と共に厳し
　　(トボール部 部長) 強いチーム力を
　　(トボール部 部長) りますので、今後
　　(トボール部 部長) ういたします。
　　(トボール部 部長) 大切に戦い上進
　　(トボール部 部長) いと思います。
　　(トボール部 部長) 初戦を大事にし
　　(トボール部 部長) ことが出来れば
　　(トボール部 部長) 一丸となつて最後
　　(トボール部 部長) よろしくお願ひし

経スボ
ハンドボール部 倍業達成!
インカレ連続出場記録更新!

発刊：大阪経済大学
スポーツ・文化振興課

三

VOICE

体育会ハンドボール部は30年連続50回目の全国大会出場を決め、誇り高い伝統を守ることができます。しかし出場することに満足するのではなく、一戦一戦大切に戦い上位進出を目指し頑張つて行きたいと思います。今年のチームは勢いに乗ることが出来れば優勝も狙えると思うのですが、初戦を大事にしていきたいと思います。ハンドボール部はチーム一丸となつて最後まで頑張りますので、応援よろしくお願ひします。